

鳥居ユキの「ハッピー」と「パワー」はどこから生まれるのか

企画展「YUKI TORII 鳥居ユキのハッピー・パワー・アイデンティティ」9月1日開幕

初公開の直筆デザイン画、過去コレクション、愛用品や仕事道具を通して、60年以上第一線を走り続けるデザイナーの創造の源泉に迫る



アクセサリーミュージアム内「YUKI TORII 鳥居ユキのハッピー・パワー・アイデンティティ」展より ©アクセサリーミュージアム(報道目的で転載可／クレジット必須)

アクセサリーミュージアム(東京都目黒区)は、2026年9月1日(火)より企画展「YUKI TORII 鳥居ユキのハッピー・パワー・アイデンティティ」を開催します。

60年以上にわたり、日本のファッション界の第一線でクリエイションを続けてきたデザイナー、鳥居ユキ氏。

大胆な色彩、異なる素材や柄を自在に組み合わせる感覚、細部まで行き届いた手仕事。そこから生まれる服には、見る人、着る人の気持ちを明るくするような独自のエネルギーがあります。

その「ハッピー」と「パワー」は、どこから生まれるのでしょうか。

本展では YUKI TORII のコレクション作品だけでなく、株式会社トリキの全面協力のもと、今

回初めてアーカイブから公開される直筆デザイン画、実際のアトリエで使用されてきた色見本帳、鳥居ユキ氏が愛用・蒐集してきた品々などを紹介します。
作品だけを見るのではなく、鳥居ユキ氏が何を美しいと感じ、何を大切にし、日々の中からどのように創作のエネルギーを得てきたのか。

服、装身具、仕事道具、愛用品、旅や家族の記憶——さまざまなものを手がかりに、一人のクリエイターの核、アイデンティティに迫ります。

////////////////////

本展の見どころ

////////////////////

1. アーカイブから初めて公開される、鳥居ユキ氏直筆のデザイン画

株式会社トリキの全面協力により、これまでアーカイブに保管されてきた鳥居ユキ氏直筆のデザイン原画を一般に初公開します。

カラーペンを用いて描かれたという原画には、完成した服とはまた異なる、アイデアが生まれた瞬間の勢いや色彩感覚が残されています。普段目にするこのできない「クリエイションの出発点」を間近にご覧いただけます。

会場では、実際にアトリエで使用されている色見本帳も展示。素材によって異なる表情を見せる膨大な色彩からも、鳥居ユキ氏の色へのまなざしと仕事の積み重ねを感じることができます。



▲鳥居ユキ氏直筆デザイン画 1973 年 ©株式会社トリキ(報道目的で転載可／クレジット必須)

また、展示室内では実際の 1973 年のコレクションなど 4 種の貴重なショーの映像も鑑賞することができます。舞台裏や集まるジャーナリストなど臨場感あふれる映像は必見です。

2. 過去の YUKI TORII コレクションと、精巧なミニチュアを同時展示

YUKI TORII の過去コレクションを、作品を再現したミニチュアとともに紹介します。小さなサイズになっても妥協なく作り込まれたミニチュアは、アクセサリミュージアム館長も魅了された完成度。本物の服とミニチュアを行き来しながら見ることで、シルエットや素材、柄、ディテールなど、作品の新しい魅力が見えてきます。



▲ミニチュアとコレクション作品

©アクセサリミュージアム(報道目的で転載可／クレジット必須)

3. YUKI TORII の服に、アクセサリミュージアムの装身具をスタイリング

「装身具やファッションを通して生活文化を考える」アクセサリミュージアムならではの試みとして、一部のコレクション作品にコスチュームジュエリーを組み合わせで展示します。服を単体の作品として見るだけでなく、装身具を加えることでスタイリングが一層生きたものになることをご観いただけます。

また、一部のミニチュアが着装している装身具は本企画展のために館長が制作しました。



▲サクランボのブローチは 1996 年春夏
パリコレクションのリバイバル



▲館長制作のミニチュア用ネックレス

©アクセサリミュージアム(報道目的で転載可／クレジット必須)

4. 灰皿、絵皿、指輪——愛用品から見てくる「鳥居ユキ」という人

本展が注目するのは服だけではなく。

鳥居ユキ氏がデザインしたプロヴァンス風の絵皿、蒐集してきた灰皿、旅先で集めた小さな石
鹼箱など、長年本人の身近に置かれてきた私物も展示します。



▲展示室 A 壁面タペストリーは鳥居ユキ氏の現在のアトリエ

©アクセサリミュージアム(報道目的で転載可／クレジット必須)

なかでも展示室中央に置かれるボリュームのある指輪は、娘・鳥居真貴氏の結婚式で鳥居ユキ
氏自身が身につけていたものです。



©アクセサリミュージアム(報道目的で転載可／クレジット必須)

何を選び、何を身近に置いてきたのか。そうした非常にプライベートなものからも、作品だけでは知ることのできない鳥居ユキ氏の人となりや、美意識の源泉が浮かび上がります。

5. 地下「プレタポルテ展示室」まで続く連動展示



企画展示室だけでなく、地下のプレタポルテ展示室でも本展と連動した展示を行います。

パリコレクションや東京コレクションで発表したYUKI TORIIの服を、アクセサリミュージアム収蔵の装身具とともにスタイリング。企画展示室とは異なる距離感で、素材や技法、装身具との組み合わせを間近にご覧いただけます。

▲地下プレタポルテの内覧をするトリキ代表の鳥居真貴氏
©アクセサリミュージアム(報道目的で転載可／クレジット必須)

6. 遠くから見るだけではわからない。YUKI TORIIの「美のディテール」

YUKI TORIIの服を間近で見ると、華やかな色彩や大胆な柄の奥に、驚くほど緻密な技術が

潜んでいます。

本展では、異なる生地を一枚の布のようにつなぐ「はぎあわせ(パッチワーク)」、美しいドレープを生み出す緻密なミシンワーク、ビジュやコードを用いた装飾、ニット、柄がぴたりと合うよう計算されたボタン位置など、写真だけでは伝わりにくい細部も見どころです。

例えば「はぎあわせ(パッチワーク)」の作品では、生地をつないだ裏側まで美しく処理され、一枚の布として自然なドレープが生まれるよう仕立てられています。

華やかに見える一着の裏側に、どれほどのアイデアと試行錯誤、そして職人の技術が積み重ねられているのか。ぜひ会場でご覧ください。



▲トリキアーカイブからの貴重なコレクションの数々

©アクセサリーミュージアム(報道目的で転載可／クレジット必須)

7.「ハッピー」は、鳥居ユキ氏のクリエイションを読み解くキーワード

本展の副題は「鳥居ユキのハッピー・パワー・アイデンティティ」。

ここでいう「ハッピー」は、単なる気持ちの明るさや華やかさだけを意味するものではありません。日々の暮らしや旅、人との出会い、色や素材、身の回りの小さなものの中に自ら心の動くものを見つけ、それを自分自身のエネルギーに変えていくことです。

—作品、デザイン画、仕事道具、そして愛用品。

それぞれを手掛かりに、鳥居ユキ氏のクリエイションを生み出し続けてきた「ハッピー」と「パワー」、そして揺るがないアイデンティティに迫ります。



////////////////////////////////////

企画展連動イベント

////////////////////////////////////

入館料割引(オシャレ割引)

本展に連動して「オシャレ割引」を開催します。
花柄や花モチーフの装身具などを身につけてご来館いただいた方は入館料が 100 円割引となります。

※学生/障がい者割引のみ併用可能
※入館の際に受付でお申し出ください

////////////////////////////////////

開催概要

////////////////////////////////////

展覧会名

YUKI TORII 鳥居ユキのハッピー・パワー・アイデンティティ

会期

2026 年 9 月 1 日(火)～12 月 20 日(日)

会場

アクセサリーミュージアム

主催

アクセサリーミュージアム

特別協力

株式会社トリキ

開館時間

10:00～17:00(最終入館 16:30)

休館日

月曜日、第 4・5 日曜日(9/27, 10/25, 11/22, 11/29)

入館料

大人 1,000 円

学生 600 円(小学生以上)

障害者手帳をお持ちの方と付き添いの方 1 名様まで 600 円

所在地

153-0051

東京都目黒区上目黒 4-33-12

公式サイト

<https://acce-museum.main.jp/>

■アクセサリーミュージアムについて

アクセサリーミュージアムは、装身具やファッションを通して生活文化を考えることを理念とする東京都目黒区の私立美術館です。

欧米の 1830 年代から現代、日本の 1950 年代から現代までの装身具をはじめ、ファッションや暮らしに関わる資料を収蔵し、装身具を単体で見るだけでなく、服装や時代背景との関

係を伝える展示を行っています。



■本件に関するお問い合わせ

アクセサリミュージアム

広報担当:北村理沙子

TEL:03-3760-7411

E-mail:info@acce-museum.main.jp

URL:<https://acce-museum.main.jp/>